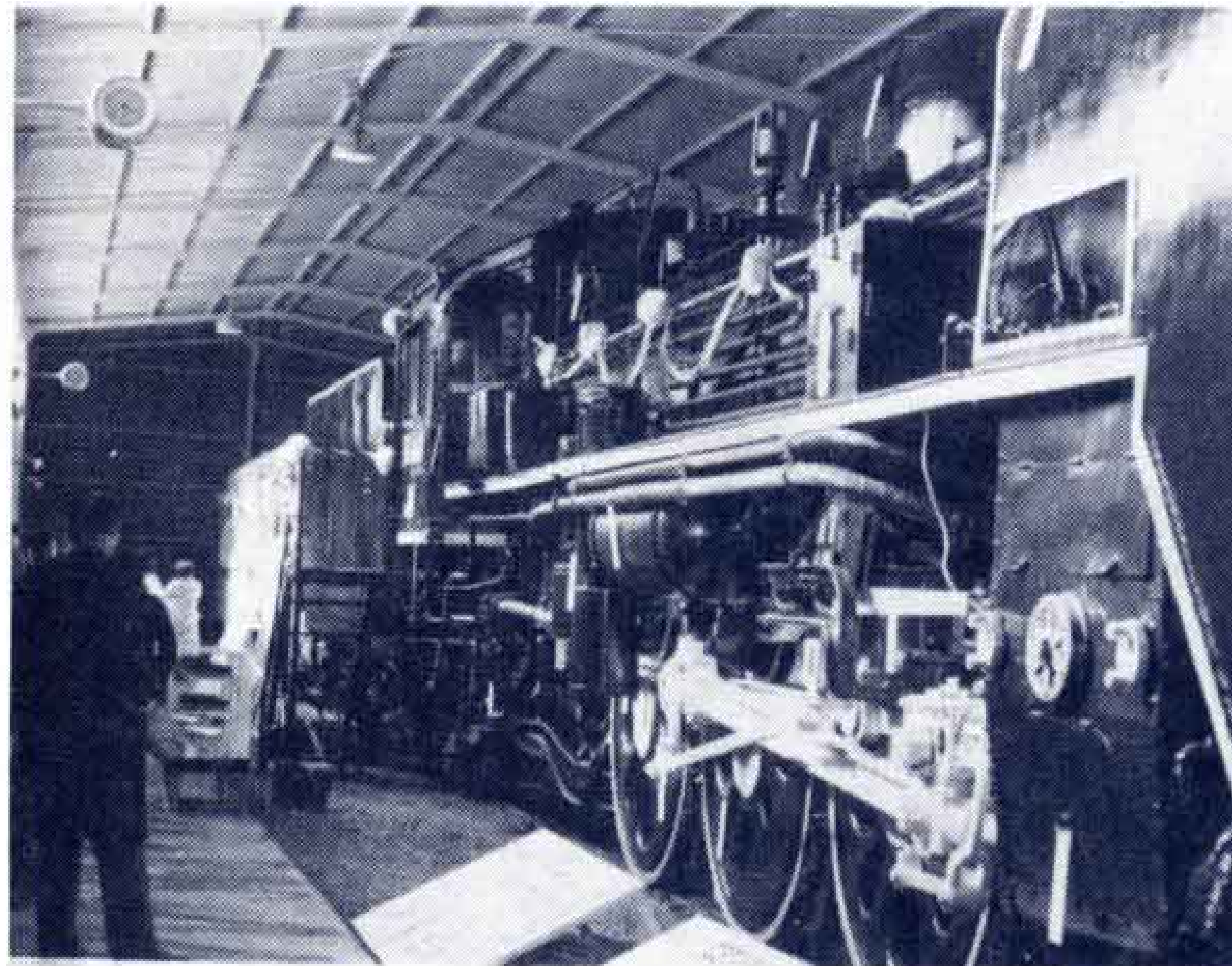


ワラワふじ

ぼくらの自慢のSL展示館

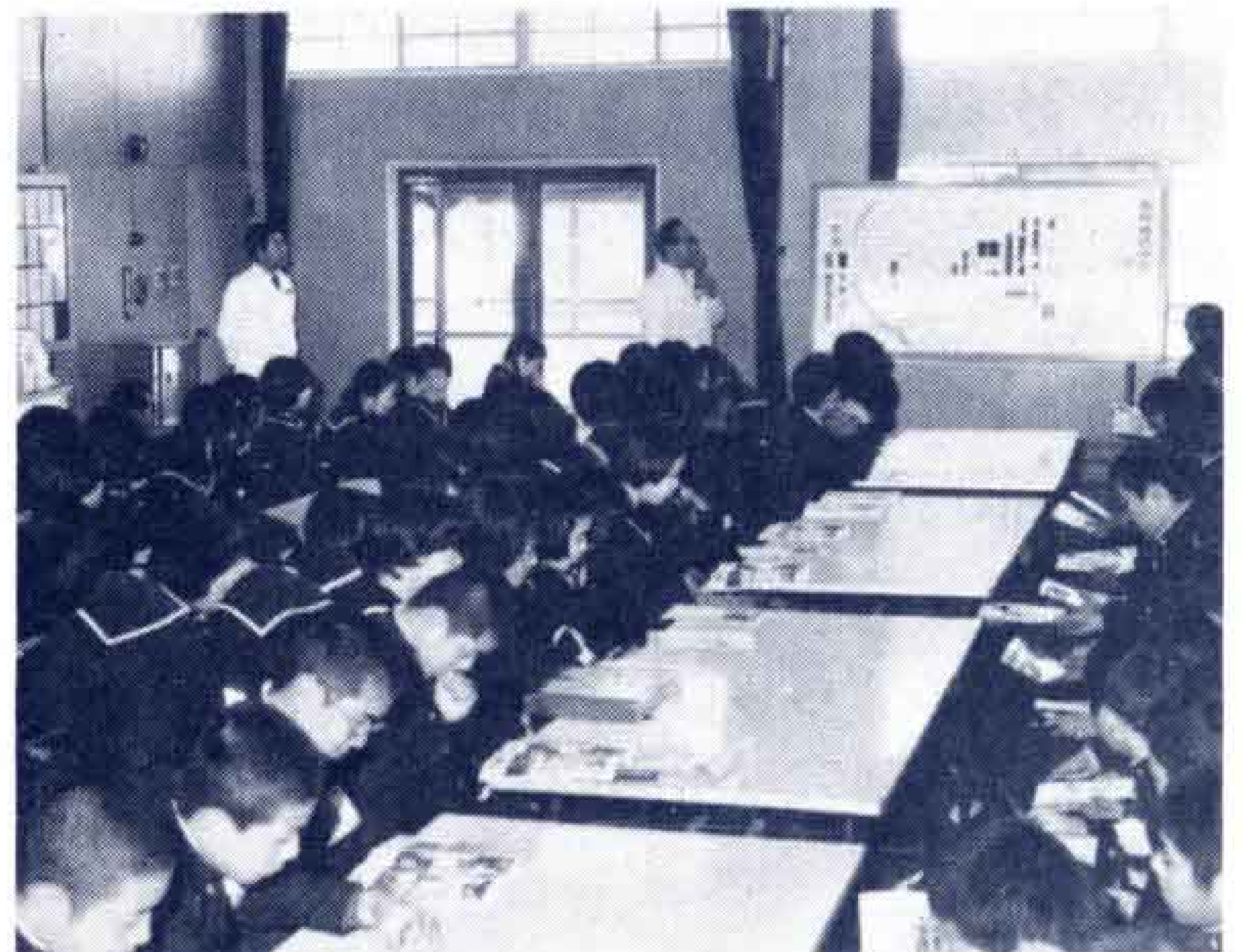
市立元吉原小学校の校庭に立派なSLと電車展示館が完成し、2月19日に落成式が行われました。この展示館にはC57型機関車と都電が各1両ずつのほか、ミニ機関車や写真、絵、SLの仕様書なども展示されており、生きた教材として児童達にも喜ばれています。



【完成したSLと電車展示館】

雄々しく巣立て……

この春、市内の中学校を卒業して新しく社会人の仲間入りをする就職希望者や技能取得、家事、家業の従事希望者など進む道はそれぞれ違っても、人生の一つの節として若者らしくはばたこうと市教育委員会主催の「社会に巣立つ若者のつどい」が2月22日吉原市民会館で開かれました。池上職安所長などの講話につづいて先輩たちと話し合い、午後からは247人の参加者が4グループにわかれて富士高等技能専門学校などを見学しました。



【事業所を見学する参加者たち】

いつまでもお元気で……

おとしよりがいつまでも元気で福にあやかるようにと2月25日渡辺市長が、大きな福だるまとタン切りあを持って吉原と富士の老人ホームを慰問しました。ホームでは、おとしよりの希望で渡辺市長がだるまに片目を書き入れ、おとしより達から大変喜ばれました。



【目無しだるまに片目を書き入れる渡辺市長】

公害病認定患者が転地療養

公害病の認定患者に空気のきれいな自然環境で保養し、健康の回復増進をしてもらうため、市では15才以上の認定患者を対象に沼津市一本松の富士ラドンセンターで3泊4日の転地療養を行いました。希望者は、男子が31人で3月1日から、女子が29人で3月8日から、それぞれ医師や看護婦がつき添い検診や入浴などで療養しました。



【入浴前に血圧測定も……】